

第十四節 昭和十一年

昭和十一年度東京美術學校年報

甲款

概況

昭和十一年三月二十三日ニ圖書師範科同月三十日ニ各本科入學許可者ノ氏名ヲ本校内ニ揭示發表シ四月十六日官報ニ掲載セリ

同年四月十一日入學式ヲ行フ

同年同月二十九日午前十時ヨリ職員生徒講堂ニ參集シ天長節拜賀式ヲ舉行セリ

同年六月六日ヨリ七日ニ至ル二日間各本科三年百十七名千葉縣習志野陸軍廠舎ニ行軍シ夜營演習ヲ実施セリ

同年同月十五日ヨリ十七日ニ至ル三日間各科豫科百七名圖書師範科一年十五名千葉縣習志野陸軍廠舎ニ行軍シ夜營演習ヲ実施セリ

同年七月一日ヨリ四日ニ至ル四日間各本科二年百〇七名圖書師範科二年十六名群馬縣相馬ヶ原陸軍廠舎ニ行軍シ夜營演習ヲ実施セリ

同年十月三十日午前八時ヨリ職員生徒講堂ニ參集シ勅語奉讀式ヲ舉行セリ

同年同月四日本校設置記念日ナリシモ都合ニヨリ繰下ゲ十一月四日記念式ヲ行フ

同年十二月七日午前九時ヨリ各本科四百三名圖書師範科四十五名

ニ對シ教練查閱實施セラル

同十二年一月八日午前十時ヨリ職員生徒一同講堂ニ參集シ新年授業始式ヲ舉行セリ

同年二月十一日午前十時ヨリ職員生徒講堂ニ參集シ紀元節拜賀式ヲ舉行セリ

同年三月二十四日午前十時ヨリ本校第四十六回卒業式ヲ行ヒ例ニ依リ各科卒業製作品並ニ圖書師範科成績品ヲ別室ニ陳列シ來賓ノ

觀覽ニ供シ翌二十五、二十六ノ両日間廣ク本校關係者及有志等ニ觀覽セシメタリ

規程

本校内ニアリテハ創定又ハ改定セラレタルモノナン

設備

圖書師範科作業科設備費 〔昭和七年度以降年報
と同文につき省略。〕

職員

本年度ニ於ケル職員ノ數ハ學校長一人教授二十七人生徒主事一人助教授十七人書記五人生徒主事補一人嘱託講師十五人同教員十三人同醫師一人副科嘱託三人事務嘱託二人教務雇二人事務雇十三人ニシテ前年度ニ比スレバ助教授ニ一人ヲ増シタルモ嘱託講師ニ一人同教員ニ二人ヲ減シ其他増減ナシ

生徒

全体ニ於ケル生徒ノ學力操行健康ノ狀態ハ前年度ニ比シテ大差アルヲ認メズ 新入學生徒ニアリテモ大要亦同様ニシテ特ニ標舉スベキ事情ナシトス

本年度新入學生ハ本科百二十一人特別學生三人圖書師範科十五人

研究生二十人ニシテ其入學者ノ學力程度ハ本科生ニアリテハ内地人官公立中學校卒業者六十一人同四年修了者八人私立中學校卒業者二十三人同四年修了者五人師範學校卒業者一人工業學校卒業者八人工藝學校卒業者五人商業學校卒業者二人美術專門學校中途退學者一人私立大學豫科中途退學者一人朝鮮人京城第一公立高等普通學校卒業者一人京城培材高等普通學校卒業者一人私立徽文高等普通學校卒業者一人台灣人台中州立新竹中學校卒業者一人東京私立城西學院中學校卒業者一人私立中野中學校卒業者一人ナリ 特別學生ニアリテハ上海美術專科學校卒業者一人北平美術專科學校二年修了者一人廣州復旦中學校卒業者一人ナリ 圖書師範科ニアリテハ官公立中學校卒業者十一人私立中學校卒業者三人師範學校卒業者一人ナリ 研究生二十人ハ何レモ本校卒業者ノ入學シタルモノトス

新入學生徒ノ年齡ハ本科生ニアリテハ内地人最高三十六年六ヶ月最低十七年四ヶ月平均二十年三ヶ月朝鮮人最高二十四年七ヶ月最低二十一年十ヶ月平均二十二年十ヶ月臺灣人最高二十六年一ヶ月最低二十三年三ヶ月平均二十四年六ヶ月ナリ 圖書師範科生ハ最高二十二年八ヶ月最低十九年四ヶ月ニシテ平均二十年十ヶ月ナリ 研究科生ハ最高二十八年十ヶ月最低二十三年八ヶ月ニシテ平均二十五年八ヶ月ナリ

生徒ノ入退學ニ就テハ本年度入學者本科百二十一人特別學生三人圖書師範科十五人ニシテ再入學者及復校セシモノナシ 退學者ハ病氣退學三人家事係累退學十九人(内入學許可ヲ取消シタルモノニ入アリ) 除名處分ノモノ九人死亡六人研究科生在學資格消滅十三人ニシテ放校處分ノモノ

及轉科セシモノナシ 此ヲ前年度ニ比スレバ入學者ハ本科生ニ四人特別學生ニ二人研究科生ニ十八人復校者ニ二人ヲ減ジタルモ圖書師範科生ニハ増減ナシ 退學者ニアリテハ家事係累退學者ニ三人死亡者ニ一人ヲ増シタルモ除名處分ニヨルモノ九人研究科生在學資格消滅ニ一人ヲ減ジ其他増減ナシ

生徒ノ員數ハ本年度末ニ於テ之ヲ前年度ニ比スレバ日本畫科ニ三人油畫科ニ一人彫刻科塑造部ニ二人工藝科彫金部ニ一人建築科ニ一人圖書師範科ニ一人ヲ増シタルモ工藝科鍛金部ニ一人工藝科鑄金部ニ一人工藝科漆工部ニ一人選科ニ一人研究科生ニ十二人ヲ減ジ彫刻科木彫部工藝科圖案部特別學生ニハ増減ナシ 之ヲ綜合シテ全体ノ差引ノ結果ハ七人ノ減少ヲ示セリ

右各科部中日本畫科油畫科ノ増加シタルハ前年度ニ比シ中途退學者ノ少ナカリシガ為メニシテ彫刻科塑造部ノ増加シタルハ中途退學者ノ少ナカリシト入學者ノ増加シタルトニ基キ工藝科彫金部建築科圖書師範科ノ増加ハ卒業者ノ少ナカリシニ基因セリ 研究科生工藝科鍛金部工藝科鑄金部ノ減少ハ入學者ノ少ナカリシ結果ニシテ工藝科漆工部ノ増加ハ中途退學者ノ多キニ基キ選科生ノ減少ハ全然募入セザルニ基ケリ

本年度ノ卒業生ハ本科百人選科一人特別學生一人圖書師範科十四人計百十六人ニシテ前年度ニ比シ十三人減少セリ 圖書師範科生徒ニハ前年度ニ於ケルト同一方法ニヨリ學術又ハ技藝ノ優秀ナルモノニ等差ヲ附シテ獎勵金ヲ給與セリ 即チ昭和十一年四月二日同年十一月二十七日同十二年三月一日ノ三回ニ同科生徒ノ競技會ヲ催シ其成績ヲ考查シテ優秀ナルモノニ獎勵金ヲ付

與セリ

昭和十二年三月卒業スベキ各本科選科並ニ圖畫師範科生徒九十五名ノ実地修學ノ為本年度ノ初四月六日ヨリ同月二十一日迄十六日間教授二名生徒主事一名助教一名書記一名講師一名之ガ引率又ハ附添ニ任シ三重京都奈良ノ一府二縣ニ出張シ著名ナル神社佛閣等ヲ歴觀シテ美術上ノ実地研修ヲナシタリ
本校ニ於テハ生徒皆通學ナルヲ以テ寄宿舎ニ關シテ申報スベキ事項ナシ

將來施設上重要ト認ムル件

大講堂新設ノ件〔昭和四年度以降報告と〕
〔ほぼ同文につき省略〕

圖畫師範科ノ修業年限ヲ四年ニ延長スルノ件〔昭和九年度以降報告と〕
〔同文につき省略〕

雜件

生徒實驗ノ資ニ供スル為諸所ヨリ依囑ヲ受ケ製作ニ從事シタルモノ、中重ナルモノヲ舉グレバ左ノ如シ

依囑製作一覽

品目	數量	受託年度	竣工年度	依頼者
賞牌	七個	昭和十一年七月一日	昭和十一年九月四日	日本學術協會理事 西成甫
花盛器	貳個	同 年九月十四日	同 年十月二十二日	農林省馬政局
花盛器	貳個	同 十二年二月五日	昭和十二年三月十二日	同上

『校友会会報』記事抜粋

學校記事〔七。S・十一・二一・二二〕日

職員辭令

帝國美術院會院被仰付 〔員〕 昭和十年六月一日 内閣 教授 和田 三造
雇 粕谷 仲三

依願解雇 同十一月二十六日 本校 講師 杉田 精二

敘從六位 同十二月二日 宮内省 講師 新 規矩男〔矩〕

依願解囑 同十二月十六日 本校 各通 教授 岡田三郎助

滿洲國へ出張所ヲ命ス 同十二月十八日 文部省 同 講師 和田 三造

〔美〕 任東京美術學校助教 昭和十一年一月八日 文部省 各通 講師 金澤 庸治

〔美〕 任東京美術學校服務ヲ免ス 同一月二十日 陸軍省 同 丸山 義男

〔美〕 任東京美術學校服務ヲ免ス 同一月二十日 陸軍省 野砲兵第一聯隊附陸軍砲兵少佐 森重 幡雄

〔美〕 任東京美術學校服務ヲ免ス 同一月八日 陸軍省 步兵第一聯隊附陸軍歩兵中佐 松崎 達郎

〔美〕 任東京美術學校教授 敘高等官七等 同一月二十日 内閣 助教 松田 義之

教練查閱報告

本校教練查閱は例年十一月下旬實施せられつゝありしが、本年は